

令和3年度 ウィズキャリアサポートセンター  
事業者向け放課後等デイサービス評価表(公表)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		引き続きコロナウイルス感染予防対策として、壁に向けて机を配置し、利用者同士が向き合わないよう配置を継続します
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を満たしています。
	③	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	利用者の人数が増えてきたら、活動拠点の変更も視野に検討をすすめます。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			年3回の職員の面談を実施。定期的にミーティングを開催し、利用者について、プログラムについての情報を検討・共有をしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			プログラムや活動内容に等について希望や要望があれば前向きに検討していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人ホームページにて掲載しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な法人内研修及び外部研修への参加を積極的に参加しています。必要に応じて参加の推薦をします。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			本人との話し合いを基に、計画相談にも沿った目標の設定を行っています。ただ遊ぶだけではなく、その中でルールや人との関わりを大切にした支援を実施しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			長野市計画相談に用いるアセスメント表を使用し、アセスメントを実施しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎週ミーティング時に協議しています。状況に応じて当日にも活動内容の検討をおこなっています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の意見の吸い上げや利用者みんなで計画・実行する内容等の工夫をおこなっています。内容に関しては、毎月予定表を発行しています。講座に関しては、年間予定表を作成し、利用者全員が講座を受けられるよう工夫しています。

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		その時のメンバーや状況に応じて必要な課題や季節に合わせた内容等を設定しています。昨年度から引き続き、体調管理やコロナ感染症に関する感染予防講座を実施しました。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		必要に応じて個別での利用から開始し、集団参加を目指した計画としています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		日程表及び曜日ごとに担当制となっています。活動内容に関しては当日ではなく、事前のミーティングにて共有しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		記録を基に活動内容の見直し及び改善を行い、次の活動へ繋げています。必要な情報に関してはその都度早急に共有を行います。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日程表の利用者欄に記録の有無のチェック欄を付け、記録のし忘れがないようにしています。休暇の職員は翌日に記録のチェックを行います。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6カ月に1回以上及び計画相談のモニタリングに併せて計画の見直しをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		ガイドラインに基づいて活動内容の計画及び組み合わせをおこなっています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		基本的に全ての職員が全ての利用者に関わる勤務体制となっています。また、支援会議の際には、事前事後に毎回情報共有をしています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		各学校の年間予定表のコピーをいただき、必要に応じて直接学校と連絡を取り、調整をしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	今現在、医療的ケアが必要な利用者はいません。今後の利用希望者が必要があれば連携体制の整備を行います。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		翌年の利用の希望があれば就学前の児童の見学や体験も受け入れており、必要に応じて支援会議にも参加をします。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		卒業後に利用する事業所に対して、必要に応じて移行支援会議にて情報の提供を保護者同意の基おこなっています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○		研修会の情報があれば積極的に参加をしています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在、利用者のほとんどの方が地域の学校に在籍しているため、児童館や児童クラブとの交流の機会は設けていません。本人及び保護者からの要望があれば検討をしていきます。

	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			長野市自立支援協議会こども部会執行部に参加しています。今年度の取り組みとして、地域の学校との連携会議及び児童発達分野にて、地域の保育園との意見交換会を実施しました。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			昨年度より、連絡ノートを活用し、必要なことに関して記載しています。将来に向けて、可能な方は自分から保護者に活動について伝えることを練習としておこなっています。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		支援会議以外にて面談や相談の要望があれば実施します。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始時に説明をしています。
	㉔	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があればその都度応じています。必要があれば支援会議の提案をし、関係者への連絡をおこないます。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、保護者会の実施はしていません。今後、要望があれば開催の検討をします。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があれば苦情対応窓口にて速やかに対応することができます。昨年度はサービスに関してご意見をいただくことはありませんでした。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月予約票とともにプログラム表及び活動詳細を郵送にて発送しています。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関しては、鍵の掛かる棚に入れてあります。また、スマホ及びパソコンには暗証番号入力のセキュリティをしています。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要なことは連絡ノートに記載し、伝達をします。講座は、TV画面に移しての視覚的に理解しやすい工夫をしています。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所単独での地域を含めた行事はないが、法人本部にて実施した際に、事業所全体で参加をしています。
非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各対応マニュアルは法人にて共通の物が作成されています。保護者には要望があれば開示することができます。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、利用者がいる時間に避難訓練を実施しています。法人内の安全衛生部会を中心に必要な研修等を実施し、全職員が参加しています。
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内に権利擁護部会があり、権利擁護・虐待防止に関する研修及び外部講師にお招きして研修を実施しています。
	㉞	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			これまでに身体拘束を実施したことはありませんが、やむを得ず身体拘束をおこなった際には、三原則に則った対応であったかの検証をおこない、同時に記録及び個別支援計画へ明記します。

④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		事前のアセスメントにて、アレルギーについて保護者より情報の提供をお願いしています。活動にてアレルギー性のある食品を扱う際には各ご家庭への確認を実施しています。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		法人内にてリスクマネジメントをおこなう部会があり、毎週ヒヤリハットについて確認をしています。